

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年4月23日(月) NO. 247

地域から明るい未来を作ろう

# 利益の本質

利益を何期にわたって出している会社は、皆んなが頑張ってきた結果です。この実行と行動力は大いに評価すべき実力ですが、たまたま環境の変化や時流に乗っただけの側面もあります。

利益の目的は自己の儲け、これは仕事で利益の手段であって、本質は逆ではないでしょうか。儲けより「良い仕事」が本来の目的でしょう。

果たして儲けのための仕事か「良い仕事」といえるのでしょうか。

お客に喜んでもらえる利益が出て儲かり稼げる。

すなわち「良い仕事」は、利益が出るくらいに「良い仕事」。結果、納税することで社会は少しずつ良くなります。本質は考え方の問題です。結果は数字に表れます。

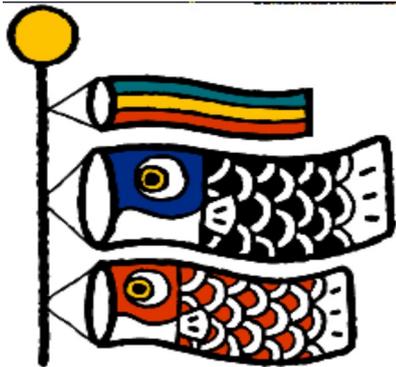
「良い仕事」の働き方が全社員の潜在意識にまで浸透している会社が、右肩上

## 利と義

りを示すのではないのでしょうか？

責任者はどんなに非難されようとも小さな流れのうち手を打たなければなりません。これまでの経験や楽観主義の結果が、多くの試験を引き寄せます。そして困難に立ち向かう覚悟が試され、この時だれも助けられないものです。

すべてに、「本質」を抜く基準・「定石」がある



ものです。会社の場合、「利と義」この一致が定石であります。

今年の3・11、「義」より「利」を優先した原発村が大惨事を起こしました。国家的大企業が国民の安全を軽視し儲けの手段にした現実が露呈しています。

放射線物質は日本の財・官・政の「義」を忘れた「利」の廃棄物のようです。戦後政治の利権、権力犯罪の開花宣言です。

今、回りを見ても「利」が極端に優先の社会になったよう。道義を忘れた人の劣化は当然の帰結です。

自分の本音に素直になろう

危機感喪失が危機招致！

仕事はベストに成果は風まかせ

## 最悪の想定

何か決断する時、最悪を考慮行動する。その場合、経験上結果にそれ以下はないのが普通である。困ったことは起こらない。その時正しいか、卑しくないか、道は中央を歩く。利害得失を重視しない、覚悟を決めている。しかし、楽観的に判断する方もおられます。

これは意識の問題です。問題意識、危機意識、当事者意識と責任感によって変わります。この意識はチームで共有する必要があります。意識はチームで共有する必要がある。意識は教え学ぶものではありません。伝わるもの、共有しなければ本物のコミュニケーションが成立しない。困難を切り開くには意識の共有が絶対に欠かせないものです。最悪を超えるには自然の法則に従い、社会に役立つことにベストを尽くす。会社も人も努力とベストの成果が周辺にあります。絶対に諦めないことです。